

未来を担う子どもたちの成長に 関われるやりがい

サポートスタッフ
松本南幼稚園



幼稚園では事務職も 子どもたちにとっては先生

大学時代、福祉関係の保育園や幼稚園にボランティアで参加し、子どもたちがいるとそれだけで活気があることを知りました。「子どもと関われる職場で働きたい」。そう思っていた私にとって、当グループは最適な環境でしたので、佐久幼稚園に配属が決まったときは嬉しかったです。

ただ、担任の先生たちの制服と同じピンク色のスモックを着ると知ったときは正直、驚きました。先生ではないのに…と。でもその理由はすぐにわかりました。子どもたちにとっては指導の先生も事務職も、みんな先生なのだと。今では子どもたちが「みほ先生」と呼んで、なついてくれるのが、なによりの喜びです。お母さんたちも名前を覚えて声をかけてくれますし、いろいろ質問されることも多くなり、頼りにしてもらえることがやりがいにつながっています。

保育のサポートも大切な仕事

私の仕事は、主に会計と物品の発注。このほか園のスケジュールシートの作成などの細々とした事務の業務です。授業料に関する質問や相談は、神経を使います。確

実に、慎重に、丁寧にできるようになりたいですね。また、入園日が近づくと、日常業務に加えて、入学金の管理や入学用品の発注、確認などで大忙し。入園申込の窓口を担当していますので、園の受付の顔として、あいさつ、話し方、笑顔には気をつけています。私の応対いかんで園の印象が決まってしまうから責任重大です。電話対応にも気を配って、笑顔で電話に出るなど工夫しています。

このほかにも、幼稚園ならではの業務が、保育の補助です。朝の送迎バスに同乗してお迎えに行ったり、遊んだり。当園は年少さんが多いので、補助に入りお着替えをしたり、おむつを替えることもあります。大変なときもありますが、子どもたちの笑顔を見ると、思わず私も笑顔になってしまうから、不思議ですね。

子どもはすごいパワーをもっています。登園するだけで、子どもたちがいるだけで、いつのまにか私も元気になって、やる気になっているのですから。

事務職でも、長野県の未来を担う、子どもたちの成長に関われる喜びとやりがい。それは、中学でも高校でも、予備学校でも同じだと思いますし、学校という教育機関独自の活気が、人間として、自分を成長させてくれるのだと感じる日々です。

松本南幼稚園
サポートスタッフ

草間 美保

2008年入職
金沢学院大学
文学部卒